

総合的な  
学習の時間

第1学年

江田島市立能美中学校

指導者 下光 宏基  
堂中 典子

単元名

# 「ここから始めよう SDGs ～江田島の海を変えていくために、自分にはどんなことができるか～」

本単元で育成する資質・能力

伝え合う力

日時：令和3年10月6日（水）第5校時

## 研究主題

生徒の探究的な学びが生まれる授業の創造  
～小中9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間の在り方～

### 1 本校の総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、地域の教育資源を生かした総合的な学習を行うことを通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 知識及び技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力・人間性等
地域の教育資源を生かした探究型の学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、地域の特徴やよさ、地域社会を支える仕組みとそれに携わる人々の思い、持続可能な社会を実現するための課題等を理解する。	地域社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ、目的に応じて表現する力を身に付ける。	地域の教育資源を生かした探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとするとともに、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら地域社会に参画、貢献しようとする態度を養う。

### 2 能美中学校区（小中9年間）で育成したい資質・能力

	レベル3	レベル2	レベル1
主体性	学びの体験を常に振り返りながら探究的に活動している。	活動を進める上で起こりうる課題を予測しながら活動している。	自ら課題を見付け、課題解決の計画を立てて活動している。
伝え合う力	【話すこと】 相手の理解の程度を押し量りながら、互いの考えを生かして伝え合っている。 【聞くこと】 相手の込められた意図や気持ちを大切にしながら傾聴し、正確に理解している。	【話すこと】 意図したことを場面や状況に合わせて、簡潔に伝え合っている。 【聞くこと】 相手の考えを理解し、自分の考えとすり合わせながら、傾聴している。	【話すこと】 意図したことを正確に分かりやすく伝え合っている。 【聞くこと】 相手の考えを理解し、自分の考えと比較しながら、傾聴している。
やりきる力	課題発見・解決を何度も繰り返し、創意工夫を重ねて粘り強く最後までやり遂げている。	自ら改善すべき点を発見し、精一杯最後までやり遂げている。	途中であきらめずに最後まで物事をやり遂げている。

### 3 指導の方向性について

#### ○単元観

##### 【第1学年テーマ 地域を語る 江田島市の現状と課題】

江田島市は、広島県南部に位置する人口22000人の島しょ部の市である。本市がある瀬戸内海は、2018年12月のナショナル・ジオグラフィック・トラベラー英国版で“SETOUCHI”が第1位に選出され、2019年には米国「The New York Times」で「52Places to Go in 2019」（2019年行くべきデスティネーション）において、第7位に“Setouchi Islands”が日本で唯一選出された。このように、瀬戸内海で4番目の大きさをもつ本市は、世界に誇れる豊かな海と自然に囲まれた市であることが分かる。

しかしながら、地域が抱える環境問題は現存している。里海学習を振り返り、江田島に住む当事者として地域がどのような環境問題を抱えているかに気付かせたい。

そこで、保護者や地域の方々々と連携しながら学習を進め、生徒一人一人が「環境の持続可能性（SDGs12～15）」について理解を深めていくことをねらう。また、単元を通して、「ここから始めよう SDGs～江田島の海を変えていくために、自分にはどんなことができるか～」を問い続けることで、地域の中で生活している本校の生徒たちが、江田島という地域を身近に感じ、地域理解を深めることを願い、また、愛する郷土を語れる態度を育てたいと考える。

#### ○生徒観（第1学年 33名）

##### 【生徒の実態】

本学年の生徒は、2校の小学校から入学している。小学校の行事として地域のアダプト活動を経験しており、地域のゴミを拾って町の環境を美しく保つという意識は高い。しかし、地域の環境について質問すると、「海がきれい」「夕日がきれい」などの答えが多く、地域が抱えている環境問題について、実感として捉えられていない生徒がほとんどである。

##### 【育成する資質・能力と関連する実態】

「主体性」…普段から各教科で振り返る時間を確保している。授業では、課題解決に向けて自分で考え取り組める。しかし、見通しをもって計画を立てて取り組んでいるとはいえない。1時間の授業の中で完結するものについては取り組み易いが、長期間の見通しや計画性に課題がある。

「伝え合う力」…普段の授業では、ペアやグループで意見を伝え合う活動を適宜設定している。相手の思いを大切に傾聴することはできるが、自分の考えを場面や状況に合わせて工夫して話すことに課題がある。

「やりきる力」…どの生徒も最後まであきらめずに課題に取り組む姿勢は見られるが、よりよいものを創ろうと試行錯誤する粘り強さに課題がある。

#### ○指導観

##### 【本単元における指導の方向性】

- 単元を通じた問いとして「ここから始めよう SDGs～江田島の海を変えていくために、自分にどんなことができるか～」を設定し、里海学習の漂着物調査から江田島が抱える環境問題に気付くことができるような体験的な活動を通して、江田島の環境の持続可能性（SDGs12～15）について考える学習活動を設定する。単元の初めには、小学校と中学校の地域貢献活動の共通点とその意義について交流し、また「そもそもゴミとは何か」について考え、ゴミが与える様々な影響について意識付けする。その後の宿泊研修においては「里海学習」での海辺の漂着物調査を振り返り、本単元で学習したいことについて考える時間を確保し、生徒一人一人が学習課題を捉えることができるようにする。単元終末には「江田島市の魅力と課題」についてまとめたことを、各班が考えた伝えたい相手に発信する活動を設定し、学習の終着点を意識して見通しをもって学習に取り組めるようにする。
- 探究的な学びを実現するために次の3点に留意して指導する。
  - ①「探究のサイクル」の充実  
「課題の設定」→「情報の収集」→「情報の整理・分析」→「まとめ・表現」の探究のサイクルを常に繰り返し行うことができるように、本時はどの場面に当たるのか必ず生徒と確認する。
  - ②中間評価と成果物を改善する時間の充実  
単元を通して、定期的に自分の学習の進捗状況を振り返るための中間評価を行い、客観的に学習状況を把握できるようにする。また、プレ発信する場面を設定し、必ず他の生徒や外部講師の協力を得て、成果物の改善に取り組む時間を確保する。
  - ③学習体制の多様化  
生徒の主体的で深い学びに繋がるように、個人の活動とペアやグループでの活動を効果的に組み合わせるようにする。また、「伝え合う力」を育成するために、アンケート調査やインタビュー等、さまざまな形態のコミュニケーション活動を生徒自身が仕組めるように支援していく。

#### 4 本単元に関する「本質的な問い」について

**【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）**

ここ江田島から広島の手をどう変えていけるか。



**【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）**

江田島の手を変えていくために、自分にどんなことができるか。  
「江田島が好きじゃけえ、海もみがこうや！」



**【個別の問い】（授業内で身に付ける知識・技能等）**

- 地域貢献とは    ○ゴミの定義とは    ○江田島の魅力とは    ○SDGsの目標と考え方とは
- 江田島の環境問題とは    ○自然に優しいエネルギーとは    ○効果的な発信方法とは

#### 5 単元の目標

「ここから始めよう SDGs～江田島の手を変えていくために、自分にはどんなことができるか～」を問い続けることを通して、地域資源を活用した体験活動を充実させ、地域の魅力を知り、課題の発見とその解決を図るとともに人との関わりや将来の生き方を考えさせる。また、活動を通して知ったこと、身に付けたことを発信するとともに、効果的に伝えるための手段を身に付けさせる。

(1) 知識及び技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力・人間性等
地域の自然環境に関わる探究的な学習において、持続可能な環境の実現には多様な問題があることを理解する。	単元の問いに対して、環境問題の知識や体験活動での学びを踏まえて、他者へ説明するために自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができる。	地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けることができる。

#### 6 単元の評価規準

(1) 知識・技能	(2) 思考力・判断力・表現力	(3) 主体的に学習に向かう態度
地域の自然環境に関わる探究的な学習において、持続可能な環境の実現には多様な問題があることを理解している。	単元の問いに対して、環境問題の知識や体験活動での学びを踏まえて、他者へ説明するために自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現している。	地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。

#### 7 単元のルーブリック

評価の観点	A 評価	B 評価	C 評価
知識・技能	持続可能な環境の実現には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解し、地域の環境問題について、具体的な例や自分の体験談を踏まえながら説明している。	地域の自然環境に関わる探究的な学習において、持続可能な環境の実現には多様な問題があることを理解している。	地域の自然環境に関わる探究的な学習において、持続可能な環境の実現には多様な問題があることを理解していない。
思考・判断・表現	単元の問いに対して、環境問題の知識や体験活動での学びを踏まえて、他者へ説明するために自分で課題を立て、効果的な手段を選択して多様に収集し、整理・分析し、まとめ・表現している。	単元の問いに対して、環境問題の知識や体験活動での学びを踏まえて、他者へ説明するために自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現している。	単元の問いに対して、環境問題の知識や体験活動での学びを踏まえて、他者へ説明するために自分で課題を立てたが、自己の考えや意見を表現していない。

主体的に学習に向かう態度	地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付け、取り組もうとしている。	地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。	地域との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしていない。
--------------	--	--	----------------------------------

能美中学校区（小中9年間）で育成したい資質・能力のルーブリック

評価の観点	A 評価	B 評価	C 評価
伝え合う力	【話すこと】 相手の理解の程度を推し量りながら、互いの考えを生かして伝え合おうとしている。	【話すこと】 意図したことを場面や状況に合わせ、簡潔に伝え合おうとしている。	【話すこと】 意図したことを正確に分かりやすく伝え合おうとしていない。
	【聞くこと】 相手の込められた意図や気持ちを大切にしながら傾聴し、正確に理解しようとしている。	【聞くこと】 相手の考えを理解し、自分の考えとすり合わせながら、傾聴しようとしている。	【聞くこと】 相手の考えを理解し、自分の考えと比較しながら、傾聴しようとしていない。

8 単元の計画（全 40 時間）

時	学習活動	知	思	主	評価方法
体験活動と課題発見⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校で取り組んだ地域清掃活動を振り返り、中学校の地域貢献活動としてのアダプト活動とのつながりや意義を考える。</li> <li>○ 宿泊研修での里海学習の結果から課題だと実感したことを出し合い、グループで課題解決したい事柄を共有する。</li> <li>○ 「江田島の現状を知り、どんな江田島であり続けたいか」という問いに対して、考えを交流する。</li> <li>○ 「江田島の環境を守るために、自分にどんなことができるか」という単元を通した問いを提示し、単元終末時の学習課題について考える。</li> </ul>			○	行動・発言 ワークシート マッピング ルーブリック
情報収集・分析⑩ 学習の見通しと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループで発信したい内容やその対象、効果的な発信方法を考える。</li> <li>○ 各グループの共通点を共有し、一人一人が語れるテーマを出し合い、決定する。</li> <li>○ グループで調べることを分担し、調べる方法や記録の取り方を共有する。</li> </ul>	○			行動・発言 ワークシート ルーブリック タブレット
表現・まとめ⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人で集めた情報を比較し、グループで表現したいことに当てはまる情報を取捨選択し、学習課題への考えをまとめる。</li> <li>○ まとめた成果物を外部講師の方やグループ単位で批評し合い、より伝わりやすい成果物について改善点を見付ける。</li> </ul>			○	行動・発言 成果物 ワークシート ルーブリック
分析④ 情報収集・	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 批評から改善点を整理・修正し、よりよい成果物作りをする。【本時（32/40）】</li> </ul>		○		行動・発言 ルーブリック
表現・まとめ⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各班で発信したい方々に向けて、学習の成果を発表する。</li> <li>○ 発表を聞いた方の感想を踏まえて、改めて「江田島の環境を守るために、（もっと）自分にどんなことができるか」についての自分の考えをまとめ、学習の振り返りをする。</li> </ul>			○ ○	行動・発言 成果物 ルーブリック ルーブリック

9 本時の展開 (32/40 時間)

(1) 本時の目標

批評から改善点を整理・修正し、よりよい成果物作りをする。(思考・判断・表現)

(2) 学習展開

	<p>(番号)生徒の学習活動 ○発問 ・予想される生徒の反応 * 教師の支援</p>	<p>・指導上の留意点 ●評価</p>
<p>課題の設定</p>	<p><b>1 前時までの学習を振り返る。</b> * 学習に必要な用具や情報機器, 関連図書などは事前に準備させ, いつでも参照できる場を用意しておく。 ○ 批評から整理した改善点を確認しましょう。 ・ ポスターのキャッチコピーのレイアウトや色を工夫すると, より関心を持ってもらえると分かったので改善したい。 ・ パワーポイントの文字は少なくすることで, 見やすく分かりやすいと分かったので, 説明の内容と合わせて改善したい。  ○ 単元の最後に, 「江田島の海を変えていくために, 自分にどんなことができるか」を, 各班で発信したい方々に向けて発表します。今日の学習では, どんなことができたらいいですか。</p> <p><b>2 本時の課題を各自で確認する。</b> ○ 各グループの学習の進み方を考えて, 今日のめあてを決めて伝え合しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>めあて</b> 自分の目標を達成できるように学習を進めよう。</p> </div>	<p>・ 前時までに作成したワークシート等を掲示し, 学習の足跡をいつでも参考にできるようにする。</p> <p>・ 単元終末での活動を確認し, 学習状況と合わせて振り返ることで, 客観的に学習状況を確認できるようにする。</p> <p>・ 全体のめあてとして「自分の目標を達成できるように学習を進めよう」を提示し, 生徒の意欲を高める。</p>
<p>情報の収集／整理・分析／表現・まとめ</p>	<p><b>3 各自の課題に合わせて学習を進める。</b> ○ 自分の目標に向かって, 学習を進めましょう。 * 生徒の学習形態(個人・ペア・グループ)は生徒の学習状況に応じて, 各々判断させる。→ 教師は, 学習状況を常に把握し, 進捗状況によっては個別に声をかけたり, 生徒同士を意図的にグループ化したりする。 * すでに成果物を仕上げているグループには, 他のグループとの意見交流の機会を設定し, よりよい成果物を作ることができるように支援する。 ・ プレ発表とは違い, 実際の発信相手にふさわしい言葉遣いになっているか, 先生に見てもらってアドバイスをもらいたい。 ・ スライドの改善したところをモニターに写して確認したい。 ・ 他の班に聞いてもらって, 改善できているか確認したい。 ・ 発信先への連絡の取り方や役割を計画しよう。 * 話し合いに介入し, 合意形成や相互理解に向けて深い議論になるように調整する。 * 外部へ連絡を取りたい班や計画を報告させ, 適切な支援をする。</p>	<p>● 単元を貫く問いに対して, 環境問題の知識や体験活動での学びを踏まえて, 他者へ説明するために自分で課題を立て, 情報を集め, 整理・分析し, まとめ・表現している。(思・判・表)</p>

振り返り	<p>4 学習の進捗状況を自己評価する。</p> <p>○ 今日の学習を振り返って、自分の学習を評価しましょう。</p> <p>5 次時の学習へ見通しをもつ。</p> <p>○ 次の時間にしなければならないことをルーブリックに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日でPPが完成したので、次は発表の練習をしたい。</li> <li>・ 他グループのアドバイスから、ポスターの見出しの色も工夫した方がいいと言われたので、レイアウトの色を工夫したい。</li> <li>・ 発信先への連絡をとろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分なりの評価の根拠も示せるように声掛けをする。</li> <li>・ 今日できたことと、次にすべきことを明確に書けるように、声掛けをする。</li> </ul>
------	---	--

(3) 板書計画および配布資料等

10/6 ここから始めよう SDGs

学習の見通し

10/ 発信  
↑  
~10/6~ 成果物の修正  
↑  
9/27 プレ発表会  
↑  
~9/24 成果物完成  
・ポスター ・PP など

**江田島が好きじゃけえ、海もみがこうや!**

**本時の目標** 自分の目標を達成できるように学習を進めよう。

これまでの学習で作成したアイデア集など

※別途、関連図書やタブレット端末等を準備する。

生徒に配布するルーブリック (例)

	A(完璧!)	B(まあまあ)	C(いまいち)
今日の学習態度について (自分・協力・集中力など)	120%   110%   100%   90%   80%   70%   60%以下		
評価の理由			
自分の課題の進み具合について	120%   110%   100%   90%   80%   70%   60%以下		
次の学習に向けて			
「伝え合う力」について	120%   110%   100%   90%   80%   70%   60%以下		
評価の理由と次の学習に向けて			